

災害から市民の生命と財産を守る

南丹市地域防災計画を策定

南丹市では、関係機関を交えた防災会議において、「南丹市地域防災計画」を策定しました。旧四町で策定していた計画を基に、地域の特性を踏まえながら、南丹市全体の防災計画としてまとめました。

市民の生命・財産を守り、災害に強いまちづくりを目指して、この防災計画をより一層実効性のあるものとしていきます。

南丹市地域における

災害の想定

本市は、面積の約八十八割が森林で、傾斜地も多く、集中豪雨や台風の際の連続豪雨などによって、山崩れや土砂



▲災害が予想されると災害対策本部を設置します

災害の起こりやすい特性があります。昨年七月に起こった集中豪雨では、市内を流れる河川が増水し、土砂崩れや法面が崩れるなどの被害が出ました。

また、南丹市周辺において、今後、地震を起こす可能性が高い活断層がいくつもあり、活断層の活動による内陸性直下型の大規模地震については、「京都府地震被害想定調査報告書（平成十年三月作成）」において、次のような震度予測と被害想定がなされています。

- 花折断層地震
市域の大部分の地域で震度六弱、市域の西部境界沿いで震度五強が予想される。
- 西山断層系地震
震源となる園部町・八木

南丹市周辺の断層位置図



町・日吉町では、ほとんどの地域で震度六強、美山町では震度六弱を中心南部の一部では震度六強、北部の一部は震度五強が予想される。

- 三峠断層地震
震源に近い日吉町を中心に、

また、このほど、これまで

西山断層系の一部とされてき